

下小ブルーの風に乗って！

【令和6年2月9日 第26号 香芝市立下田小学校 校長室発行】



避難訓練



①



②



③

今月の二上山



冬空にかすむ二上山

1月26日(金)、地震発生による避難訓練を行いました。これまでは、阪神淡路大震災のあった1月17日をイメージして行われてきましたが、今年は能登半島地震のイメージのほうが、子どもたちにとって強かったと思います。通称「ピロティー」と言われている給食室下のスペースが崩落物により通れないという想定で行いました。したがって、北館の児童は、すべて西側の経路で避難することになりました。一次避難【①】のあと、揺れが一時的に収まった頃を想定して二次避難を行いました。【②③】運動場に避難するまでの時間や避難のようすは、落ち着いてかつ速やかに移動していたのでよかったです。全員が避難し終えた運動場では、日頃の備えが必要であるという意味で、「寝ている場所や食事をしている場所について、地震が起きたときに倒れてくるものがないかどうかを、おうちの人と一緒に確かめるように。」と話しました。

新年お楽しみ会



竹馬



なわとび



福笑い



こま回し



けん玉

1月12日(金)、「新年お楽しみ会」を行いました。1・6年生は1・2時間目、2・4年生は3・4時間目、3・5年生は5・6時間目に、そして縦割り班でグループになって正月の遊びや昔の遊びを楽しみました。わたしも、こま回しにチャレンジしました。子どもの頃のように、手のひらにのせることができてたので、子どもたちから拍手をもらいました。

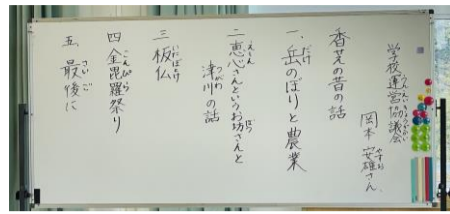
車椅子バスケットボールを体験しました！！



1月15日(月)、5年生は多様性についての理解の学習で、パラスポーツの選手をお招きして、車いすバスケットボールや車いすラグビーの体験をしました。体験のあとは、3つのグループに分かれて、3人の選手への質問タイムもいただきました。3人の選手それぞれの体験談はもちろんのこと、チャレンジすることの大切さやパラスポーツの普及とともに車いすが改良されたことを学びました。私が最も心に残ったのは、パラリンピックの精神である「できないことを数えるのではなく、できることを数えましょう。そして、できることを探しましょう。」です。これは、障害があるなしに関係なく、すべての人にあてはまることだと感じました。

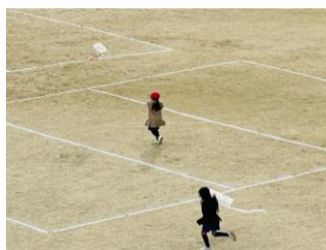


香芝の昔の話



1月23日(火)、3年生社会科の香芝市の学習の中で、岡本安雄さま(本校学校運営協議会委員)から「香芝の昔の話」というテーマで、お話をいただきました。本校の校歌から二上山と下田小学校の関係を説明したあと、「岳のぼりと農業のかかわり」「恵心と津川」「板仏」「金毘羅祭り」のお話をいただきました。秋に収穫したお米を春まで食べないのは、種もみとして最高のものを選ぶためだと教えてもらいました。また、「板仏」や「金毘羅祭り」は、今でも子どもたちが楽しみにしている大きな祭りです。今回の学習を通して、子どもたちが今まで以上に「香芝」の事を知り、「香芝」の事を好きになってほしいと願っています。

た〜こ、た〜こ、あ〜がれ♪



1年生では、生活の時間に作った「たこ」を、運動場をいっぱいに使ってあげていました。強い風が吹く日でしたので、たこもよく上がりました。満面の笑みでたこあげをしている子どもたちを眺めていると、私まで幸せな気持ちになりました。

下田スマイル集会 1.23



この日は、集会委員会のメンバーによるジェスチャーゲームクイズで盛り上がりました。ジェスチャーから、何をしているところなのかをクイズ形式で考えるものでした。野球はわかりやすかったのですが、スーパーマーケットは少し難しかったです。でも、スーパーマーケットのジェスチャーは、子どもたちの観察力のすごさを感じました。

全国学校給食週間 1.24~1.30



メキシコ料理



タイ料理



シンガポール料理



ポルトガル料理



奈良の料理

日本の学校給食の始まりは、明治22年(135年前)とされていますが、戦争のために中断しました。そして、戦後の新しい学校教育制度において、給食が再開された日は12月24日ですが、冬休みと重なるため、1か月後の1月24日~30日を「全国学校給食週間」と決めました。学校給食の意義や役割について子どもたちや先生はもちろんのこと、保護者や地域の方々の理解と関心を高めるとともに、学校給食の充実を図るためです。そこで、世界の国々の食文化にふれる機会として、今年はメキシコ、タイ、シンガポール、ポルトガル、日本の料理を献立にしました。

全校朝会のお話【2月5日】

みなさん、おはようございます。
今月は、「思いやり」についてお話します。
みなさんは、知っていますか？
「思いやり」には、3つの種類があることを。

「思いやり」とは、困っている相手に対して、親切にすることですね。
これが1つ目の思いやりです。
だから、親切を受けた人から「ありがとう」の言葉が返ってきます。

でも、こんなこと言われたことがありますか？
「あなたのためを思って、言ってるのがわからないの？」
これも、相手のことを考えて、相手のためになると思って、
教えてあげたり、注意したりすることです。
でも、これは、「思いやり」というよりか「お節介」だと思います。
だから、わたしは「お節介」はしないように気をつけています。

では、3つ目の「思いやり」は、どんな「思いやり」でしょうか？
みなさんの中にも、きっと、この3つ目の「思いやり」を知っている人がいるでしょう。
それは、相手に気付かれない「思いやり」です。
相手に気付かれない「思いやり」って、どういうこと？
困っている人がいて、その人に気付かれないように親切にすることです。
わたしは、この思いやりのことを「粋な思いやり」と呼んでいます。
どんなことができるのかは、みなさんで考えてみてください。

そして、下田小学校に、香芝市に、日本中に、世界中に、
この「粋な思いやり」がたくさん見られるようになることを願っています。

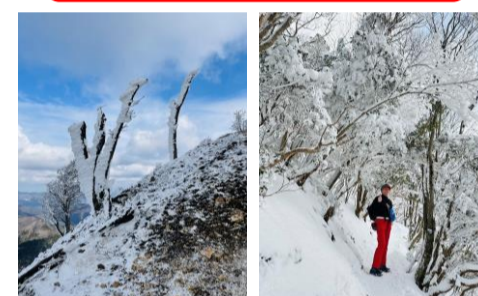
美しいもの



高見山を登っています!!



美しい霧氷!!



左:「エビのしっぽ」と言われています。
右:霧氷のトンネルで「ハイ、ポーズ!」